

報道写真家

ロバート・キャパ セレクト展

もうひとつの顔

# ROBERT CAPA



《ロバート・キャパ・ポートレート》/1951年 ルース・オーキン撮影 《共和国派民兵の死(「崩れ落ちる兵士」)》/1936年9月  
 《パブロ・ピカソとフランソワーズ・ジロー(奥はピカソの甥)》/1948年8月 《避難民移送センターにて》/1939年1月  
 東京富士美術館所蔵 The Robert Capa and Cornell Capa Archive

2022年

## 9月10日(土)～11月6日(日)

※新型コロナウイルスの影響で  
変更の場合があります。

開館時間 10:00～18:00(入館は17:30まで) 休館日 月曜日、9月20日(火)、10月11日(火) ※9月19日(月・祝)、10月10日(月・祝)は開館

観覧料 一般 1,000(800)円、大学生・神戸市外在住の65歳以上 500(400)円、高校生以下・神戸市内在住の65歳以上 無料

※( )内は有料入館者30名以上の団体料金。※神戸ゆかりの美術館、小磯記念美術館の当日入館券(半券)をお持ちの方は割引が受けられます。

主催/神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社 後援/サンテレビジョン、ラジオ関西 企画協力/東京富士美術館 展示協力/大阪樟蔭女子大学

**K** 神戸ファッション美術館  
KOBE FASHION MUSEUM



# ROBERT CAPA

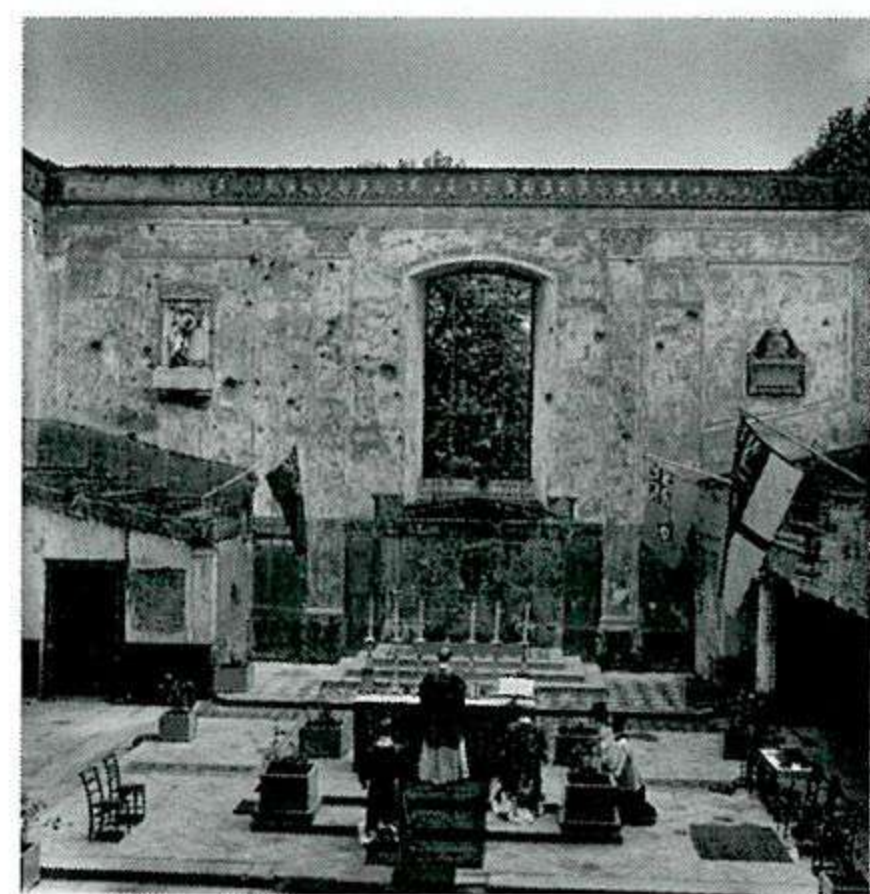
## ロバート・キャパ セレクト展 もうひとつの顔

ハンガリー出身のロバート・キャパ(本名アンドレ・フリードマン)は、20世紀を代表する報道写真家です。スペイン内戦の結末を暗示するかのような《崩れ落ちる兵士》や、死線に身を晒し命懸けで撮影したノルマンディー上陸作戦の激戦は、戦争報道写真の傑作とされています。リアルタイムに映像が届けられることがなかった時代、キャパの写真が紙面を通して人々に与えた衝撃は計り知れません。

一方で、キャパは戦時下の市民の姿もカメラに多数おさめました。不安げに空を見上げる人々や途方に暮れて佇む人など、戦争が日常化した世界とそこに生きる人たちの姿を多面的に

捉えようとする意識がうかがえます。このことは、キャパ自身が写真集を企画刊行する編集的視野をもっていたことと関係しているかもしれませんが、人が見せる鮮烈な感情と向き合うことで「人間」という存在にせまる挑戦であったと捉えることもできるでしょう。人の内面を浮き彫りにするキャパの「まなざし」は、親交のあったピカソやヘミングウェイらを被写体とした場合にも遺憾なく発揮されます。

本展では、東京富士美術館が誇るロバート・キャパ・コレクションの中から、溢れ出る感情とそれを捉えるキャパの眼を軸に選び出した約100点の作品を展示することで、キャパの「もうひとつの顔」である編集的視点を会場内に構成します。再び緊迫する世界を前に、激動の世紀を駆け抜けたキャパの写真をぜひご覧ください。



### Robert Capa ロバート・キャパ

ロバート・キャパ(本名アンドレ・フリードマン)は1913年、ハンガリーのブダペストに生まれた。1930年代から写真家として活動を始める。キャパはスペイン内戦や第二次世界大戦などの戦場で撮影。写真という技術の登場を背景に、臨場感のあるキャパの写真は注目を集め、公私にわたるパートナーとなった女性写真家ゲルダ・タローとともに撮影を続ける。スペイン内戦時に兵士が撃たれた瞬間をとらえたとされる「崩れ落ちる兵士」や、ノルマンディー上陸作戦時の「Dデイ」などは中でもよく知られている。1947年にアンリ・カルティエ=ブレッソンやジョージ・ロジャークらとともに国際写真家集団「マグナム・フォト」を結成。1954年には来日し、東京、奈良、大阪などで人々を撮影。その直後、第1次インドシナ戦争を撮影中に地雷に触れ、40年の生涯を終えた。

### GalleryTalk ギャラリートーク

日時 9月21日(水)、10月6日(木)、10月18日(火)  
各日14:00～ ※30分程度

解説 当館学芸員

定員 各日20名 ※申込不要  
※当日、12:00～整理券配布

参加費 無料(要入館券)

※新型コロナウイルスの影響で中止になることがあります。

- 1.《国際旅団の解散式》/ 1938年10月25日
- 2.《7フィートの竹の棒の先に木炭をつけて描くマティス シミエス》/ 1949年8月
- 3.《カーニバル》/ 1950年2月
- 4.《ツール・ド・フランス出場選手のひとり ビエール・クロアックが経営する自転車販売店の前でレースを見物》/ 1939年7月
- 5.《焼津 日本》/ 1954年4月
- 6.《ロンドン イギリス》/ 1941年6-7月

東京富士美術館所蔵  
The Robert Capa and Cornell Capa Archive

### 同時開催 ドレスコレクション展

「フランス文学が誘う 街とファッション-19世紀後期から20世紀へ-」

## K 神戸ファッション美術館 KOBE FASHION MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1  
TEL 078-858-0050 FAX 078-858-0058

URLが新しくなりました  
<https://www.fashionmuseum.jp/>



[ご来館に際してのお願い]神戸ファッション美術館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次のとおりご協力をお願いいたします。37.5℃以上の熱がある方・体調がすぐれない方はご入場をお控えいただきますようお願いいたします。マスクの着用をお願いいたします。入場前の手指のアルコール消毒にご協力ください。展示室内での会話はお控えください。展示室内の混雑を避けるため状況に応じて入場制限を行う場合があります。予めご了承ください。

### アクセス

[電車ご利用の場合]

●JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」で六甲ライナー乗換、「アイランドセンター駅」下車、南東徒歩3分

[バスご利用の場合]

●新幹線「新神戸駅」より、みなと観光バスにて「神戸ペイシェラトンホテル」下車、南へ徒歩3分

●JR「三ノ宮駅」より、みなと観光バスもしくは日交シティバスにて「神戸ペイシェラトンホテル」下車、南へ徒歩3分

●阪急「御影駅」・阪神「御影駅」より、みなと観光バスにて「アジア・ワン・センター」下車、南へ徒歩5分

[駐車場のご案内]

●お車の方は、美術館地下の神戸ファッションプラザ駐車場をご利用ください(1日最大550円) ※駐車場との提携はしておりません。

